

こびっと通信

特集

エコチル調査の今…質問票調査の取り組みと進捗状況 ～目指せ！回収率UP！大作戦～

1-2

- ・エコチルやまなし取材班が行く！！「コアセンター」ってどんなところ？ …… 3-4
- ・エコチルやまなし写真館「わが家のぼこっち大集合」、WAON知っ得情報 …… 5-6
- ・イベント報告、「表紙撮影会を開催しました!」、編集後記 …… 7

エコチル調査の今…質問票調査の取り組みと進捗状況

～目指せ！回収率UP！大作戦～

エコチル調査は、お子さまの生後6か月の時点から半年ごとに質問票を発送し、健康状態や成長発達などについてご回答いただく質問票調査が行われています。2016年10月末現在、参加者全員に6か月時から2歳時までの質問票の送付が完了し、今はお子さまの成長に合わせて、2歳時から5歳時までの質問票がやり取りされています。今回の特集は「エコチル調査の今」。エコチルやまなしにおける質問票調査の取り組みと進捗状況についてご報告します！

エコチルやまなしの参加者さんに発送された質問票は、2016年9月末現在、トータルで29,198冊になりました。全国15か所のユニット全体では、なんと637,982冊に上っています。そのうち、参加者の皆さまから提出された質問票は山梨県内で23,381冊、回収率は80.1%となっています。

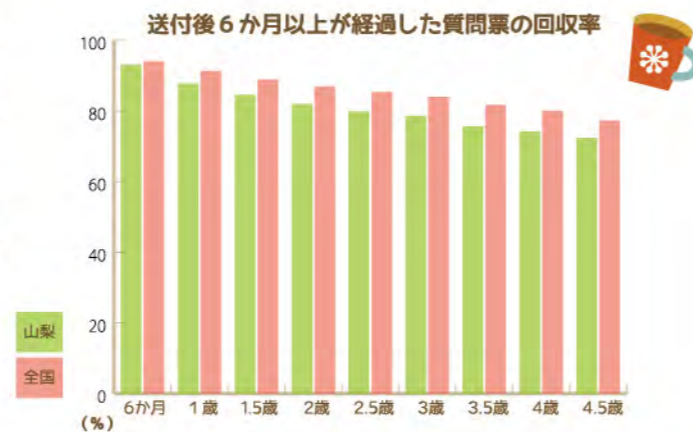
発送してから半年以上が経過した質問票の回収状況をまとめてみました。

送付後6か月以上が経過した質問票の回収率

	年齢	6か月	1歳	1.5歳	2歳	2.5歳	3歳	3.5歳	4歳	4.5歳
山梨	発送数	4,454	4,422	4,347	3,666	2,984	2,257	1,576	899	257
	回収数	4,147	3,881	3,676	3,007	2,383	1,775	1,191	667	186
	回収率	93.1%	87.8%	84.6%	82.0%	79.9%	78.6%	75.6%	74.2%	72.4%
全国	発送数	99,521	99,238	97,852	81,773	64,300	45,921	30,689	16,455	4,534
	回収数	93,568	90,580	87,023	71,138	54,852	38,571	25,073	13,182	3,506
	回収率	94.0%	91.3%	88.9%	87.0%	85.3%	84.0%	81.7%	80.1%	77.3%

全体では約8割となっている回収率ですが、お子さまの年齢が上がるに連れて徐々に低下していることがわかります。また、全国の回収率と比較しても、すべての年齢で山梨が下回っているのが現状です。

こうした状況を踏まえ、エコチルやまなしでは本年度から、質問票回収率アップを目指した活動に新たな試みを加えました。



活動その1

質問票が発送されてから6週間後の時点で未回収の参加者さんに、提出をお願いする内容のショートメールを送ります。

活動その2

ショートメールを送ってからさらに4週間経っても未回収の方に、スタッフが電話をかけて返送をお願いします。電話は、山梨大学医学部代表055-273-1111からになります。



活動その3

お電話してからさらに10週間経った時点で未回収のままの方に再度、お電話をかけます。つながらない方にはハガキや手紙を出してご協力をお願いします。

エコチルやまなしオリジナル企画

エコチルやまなしでは、6か月時から3歳時までの6冊の質問票のうち、5冊以上提出して下さった皆さまに感謝状とオリジナルランチバックをプレゼントしています。また、5歳時の質問票には、お子さんが10歳になった時に郵送するタイムカプセル企画の「お手紙セット」が入っています。少しでも楽しく調査にご参加いただけるよう、これからもいろいろと工夫していきたいと思っておりますので、どうぞお楽しみに～！



オリジナルランチバック



10歳になったお子さまに送るお手紙セット

おかげさまで、参加者さんの66.2%、3人に2人の方は、質問票発送から6週間以内にご返送いただいています。残りの3分の1の皆さまもきっと、毎日の家事や仕事に忙しい思いをされているのだらうと理解しています。その上で、しつこいぐらいにご協力をお願いするのは、未来の子どもたちが安心して暮らせる環境をプレゼントしたいから…にはほかなりません。

エコチル調査では、お母さまが妊娠中から出産前後にかけて、血液や尿、臍帯血や母乳など、大変貴重な生体試料をいただきました。これらを分析し、化学物質の種類や量を調べ、そこから生まれたお子さまの成長を、質問票調査によって追跡できて初めて、エコチル調査最大の目的である「環境中の化学物質が子どもに与える影響」について調べることができます。どうか、いただいた生体試料を生かすためにも、質問票調査にご協力をよろしく願いいたします！！



子育て真っ只中のエコチルママのみなさん、家事に育児にお仕事に…毎日本当にお疲れさまです。私も2人の子どもを持つ母親ですが、朝から夜までやることはてんこ盛り！！

1日を終えるころにはヘトヘトで、夜は子どもと一緒に寝てしまうことも。要領よく家事をこなせば良いのですが、なかなかそうもいきません。特に洗濯物は取り込んでそのまま、なんてことがしばしば。こんな状況を先輩ママに話してみたところ、「洗濯物をたたみながら寝かしつけるといいよー」と教えてもらいました。

わが家は7歳と4歳の子どもののですが、寝かしつけとまではいなくても、まだまだ一緒に寝てほしい年ごろです。試しに洗濯物を寝室に持ち込んで、子どもが寝転んでいるすぐ傍でたたんでみました。話をしたり、しりとりをしたり、「本を読んで～！」と言われた時は、たたんでいる横で本を開いて読んでみる…。 “ながら育児” とも言えますか。時には「一緒に寝ようよー」と言われることもありますが、「これが終わったらすぐ寝るよ」と言っているうちに、子どもたちはうとうとしたりして…。

余力があれば夜のうちに翌日の準備もしてしまいます。この方法で、私は気持ちも体も随分楽になりました。もちろん、どうしても疲れていたら何もせず、一緒に寝てしまうこともあります。それも体力勝負のママにとっては大事な決断だと思います。せっかくの子どもとの時間なので、「ながら」ではなんだか申し訳ないかな…と思わないわけでもないのですが、時間がある休みの日にしっかりと一緒に遊ぶことでリフレッシュしています。そして、たとえ遊ぶ時間が短かったり、全くとれなかったとしても、決して自分を責めないようにしています。一生懸命やっている姿は、子どもたちも小さいなりに、きっと見ていてくれるはず！

日々の生活は各家庭の状況や子どもの年齢によってそれぞれ違います。時にはいろいろなママの話を聞いたり、先輩ママに相談したりして、自分に合った方法を見つけながら、気長に楽しくやっていけるといいですね。

リサーチコーディネーター 小林 梓



エコチルやまなし取材班が行く!!

「コアセンター」ってどんなところ？

エコチル調査は北海道から沖縄まで、全国15の地域で行われている大規模調査ですが、この調査の中心機関として総合的な管理・運営を行っているのが、「エコチル調査コアセンター」です。参加者の皆さんにとっては身近に感じることは少ないかもしれませんが、その名の通り、エコチル調査の「コア（中核）」となっているとても重要な場所です。実際にどんな業務が行われているのか、こびっと通信取材班がコアセンターを訪ねてきました。

茨城県つくば市にある国立環境研究所。敷地内には約20棟もの建物があり、その一角、環境保健研究棟に「エコチル調査コアセンター」が開設されています。1階から3階までのフロアを使い、非常勤職員さんを含めた総勢約40名のスタッフが働いています。

エコチル調査は現在、目標としていた10万人の妊婦さんの参加登録が終了し、参加者の皆さんには半年に1回のペースで、お子さんの健康状態や成長発達の様子などを記入してもらう質問票調査が行われています。その質問票の内容を検討し、完成したものを印刷にかけ、全国の参加者さんのお宅に発送するまでを行っているのがコアセンターなのです。



建物2階に設けられたコアセンターの事務局



質問票の封入作業

管理された返信用封筒

質問票の発送は2週間に1回抽出される対象者リストをもとに、担当スタッフが専用の部屋にこもって作業をしています。質問票の回収は全国の各ユニットセンターで行われるため、質問票に同封する返信用封筒は、それぞれのユニットセンター行きのもの間違いなく封入しなければなりません。現在、2歳時～5歳時の7段階の質問票が発送されており全ユニットの対象者を合わせると、1回の作業で封入・発送する質問票は8,000通にもなるとか！ それをすべて手作業で行っているため、1日じゅう、同じ姿勢での作業が1週間ほど続くそうです。エコチル調査はこうした地道な作業によって支えられているのです。

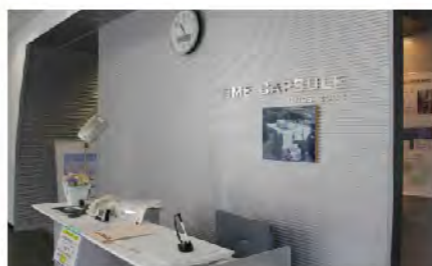


粒子状物質を採取したフィルターを計測する女性スタッフ

エコチル調査は全参加者の5%にあたる約5,000人の方をお願いして、2014年秋から詳細調査を行っています。その一つ、環境測定で採取した参加者さん宅のハウスダストや、空気中の化学物質などの検体もコアセンターに集められ、分析が行われています。

コアセンター2階の奥には分厚い扉で仕切られた不思議な小部屋がありました。「天秤室」と呼ばれているこの部屋は年間を通じて常に室温21℃、湿度35%の状態に保たれ、環境測定で採取したPM2.5などの粒子状の化学物質を計測するための部屋に仕立てられていました。

部屋の中では2名の女性スタッフがピンセットを持ち、直径2センチほどの薄いフィルターをつまんで特殊な機械に乗せ、重さを1枚1枚計測するという気の遠くなるような作業に黙々と取り組んでいました。



タイムカプセル棟の入口

コアセンターの建物から少し離れたところに、「タイムカプセル棟」と呼ばれる建物があります。ここでは、妊娠中から出産、1か月健診時に参加者の皆さんからいただいた血液や尿、臍帯血や母乳、出生後のお子さんの血液や毛髪など、大変貴重な「生体試料」がおよそマイナス160℃の液体窒素タンクの中で冷凍保存されています。その数は合わせて450万検体以上！ 全国の参加者さんとユニットセンターのスタッフが力を合わせて集めた大切な宝物が、ここで静かに眠っていました。



ずらりと並んだ液体窒素タンク

これらの生体試料はあらかじめ小分けにされており、現在、血液の中に含まれる鉛やカドミウム、水銀といった重金属の分析が始まっています。皆さんから寄せられる質問票の結果と併せて、これからどんなことが解明されるのか、エコチル調査は国内はもとより国際的にも大変注目されています！

コアセンター長代行 新田裕史先生インタビュー！



にった・ひろし 先生
1982年東京大学大学院医学系研究科
修了(保健学博士)
国立環境研究所環境リスク・健康研究
センターフェロー
専門分野は環境疫学。特に大気汚染の
健康影響に関する疫学研究。

「エコチル調査はスタートから6年が経とうとしています。どんな感想をお持ちでしょうか？」

よくここまで来たなあというのが率直な感想です。今まで多くの疫学調査に関わってきましたが、エコチル調査は他の調査に比べて、質問票の記入状況や提出率が非常に高いんです。参加者の皆さんがすごく丁寧に書いてくださっていて、ここまでよく協力していただいていることに感謝しています。ただ、エコチル調査はこれから先の方が長いので、これからも皆さんが私たち調査者と長くおつきあいをしてくださることを願っています。

「一部の家庭には詳細調査にも協力いただいています。詳細調査はご自宅の環境測定をはじめ、お子さんの発達検査や医学的検査にも協力いただいています。ご協力についてはいかがですか？」

詳細調査に参加して下さっている方は、皆さん大変な調査によく協力していただいていると思います。実は私自身も詳細調査の開始前に自宅の布団に掃除機をかけて、ダストの採取を実験的にやってみたんです。家内に「私の掃除に文句あるの？」なんて言われましたが(笑)。詳細調査では、参加者さん

に1か月間わたって掃除機のハウスダストを集めていただいています。この「掃除機のごみ」は、皆さんの日常生活の中から集められたものですから、とても貴重な研究材料です。5,000世帯ものハウスダストを集めた研究なんて、今までに例がありませんからね。現在、集められたハウスダストを丁寧に特殊なふるいにかけて分析を進めています。どんな結果が出るのかとても興味を持っています。

「今後のエコチル調査について教えてください。」

子育て中の皆さんのライフスタイルはどんどん変化していくと思いますが、その中でも無理なくエコチル調査におつきあいいただけるようにと考えています。質問票の回答方法も、今のように記述して郵送する方法だけでなく、パソコンやスマートフォンでも回答できるようにしてはどうかと検討しています。また、調査者と参加者さんが直接お会いして、コミュニケーションが取れる機会をもっと作っていただければと思っています。調査でわかったことも、少しずつ皆さんに報告していきたいと思っています。未来の子どものための研究と言っていますが、できるだけ今の子どもにも役に立つ研究でありたいと思っています。

「最後にエコチルやまなしの参加者の皆さんにメッセージをお願いします。」

山梨は子どもを育てる環境として、とても良いところだと思いますが、具体的にどういうところが良い環境かということは、広く全国を調べて他の地域と比較することで確かめられます。エコチル調査はそんな良い環境を守るために役立つ調査だと思っていますので、ぜひこれからも長いおつきあいをよろしくお願いいたします。



エコチルやまなし写真館

“わが家のぼこっち”大集合!

テーマ 「爆笑! 変顔大会!」

子どもって思いもかけないようなしぐさや表情をしてくれますよね。面白いけど、かわいいと思える瞬間ですね。今回はエコチルキッズの変顔大会です! ちょっと怖〜い写真やミステリアスなもの、ほほえましい変顔写真が大集合! 皆さまじっくりご覧ください

皆さまからのお写真大募集
テーマは「エコチルファミリー作品展」



かたごろうせい
片田光星くん
保育園に行くのに、車の中に入り込んで待っている時の様子。「早くママこないかなー」



ほさか ゆづと
保坂優翔くん
ふたつプチトマトを口に入れたら、ほっぺがのびるのびる〜リスさんみたいなほっぺ! 「触って、みてみて〜」とご機嫌でした



しみず りおん
清水理央くん
宇宙人の顔らしいです(笑)



しらず ひると
白須裕人くん
“サプライズバースデーケーキ”お友達とのBBQでお祝いしてもらいました! うれしくて、美味しくてはしゃぎすぎ☆



のだ たかお
野田高雄くん
「I love you」と言うと私にキスを投げかけてこの顔をします。とっても可愛いです♡



やぶき はるか
矢崎翼叶ちゃん
雨の日にてるてる坊主の気持ちになっています



はぎはら つむぎ
秋原紬希ちゃんと弟の圭悟くん
弟がおやつデビュー! 仲良くおやつタイムです



ちんざい もえか
鎮西百恵華ちゃん(左)
まだまだ姉ちゃんには敵いません(笑)



ちば こうが
千葉光河くん
メガネかけてみたよー似合っているかな?



ないうたかひろ
内藤貴大くん
「まぶしいよ、ま〜ま〜」の瞬間です!!



のむら しおり
野村 菜ちゃん
ベランダから家の中が気になったようです



ほそだ あいな
細田愛菜ちゃん
何やら1人で笑っていたのでどうしたのかと思ったら、顔にフィルムを付けて遊んでいました(^^)

次号では、エコチルファミリー作品展と題して、エコチルキッズの絵や工作はもちろん、お父さまやお母さまが趣味や特技を生かして手作りした作品の写真を募集します。皆さまの力作をこびっと通信の誌面で紹介してみませんか? 我こそはと思う皆さまのご応募をお待ちしております。

締め切りは 2016年12月31日(土)

メールの場合:
件名に「こびっと通信写真」と入れて下記アドレスまでお送りください。
<送付先メールアドレス>
copit@yamanashi.ac.jp

郵送の場合:
〒409-3898 山梨県中央市下河東1110
山梨大学エコチル調査甲信ユニットセンター
「こびっと通信写真」係までお送りください。
※「こびっと通信」は、エコチルやまなしのホームページにも掲載します。また、お送りいただいた写真は返却できません。あらかじめご了承ください。応募多数の場合は抽選とさせていただきます。



WAON 知っ得情報

エコチル調査で WAONポイントが貯まります!

エコチル調査の質問票にご協力いただいた謝礼として、皆様にお贈りしているWAONポイント、上手にお使いいただけていますか? 質問票1冊につき、1,000円分のポイントを差し上げていますが、普段のお買い物で、1,000ポイントを貯めるとなると、なんと20万円分のお買い物が必要になります! 質問票1冊が20万円分のお買い物と同じ価値になりますので、くれぐれも忘れずにダウンロードしてお受け取りください!

ポイントのダウンロードには、有効期限があります。お早めに電子マネー(WAON)に交換しておくことをお勧めします。また、お贈りしたWAONカードを紛失された場合は再発行いたします。再発行の手続きは確認事項がありますので必ずエコチルやまなし専用電話にご連絡ください。

エコチルやまなし専用電話
055-273-6775(土日祝日を除く9:00~17:00)

謝礼ポイントを使うには...

謝礼ポイントは受け取り期限があるのでご注意ください!

- Step.1 エコチルやまなしからお届けしたWAONカードをイオン系列のスーパーやファミリーマートのレジに持って行き、ご自身で1,000円をチャージする。(初回のみ)
- Step.2 質問票をご返送いただくと、エコチルやまなしから謝礼ポイント付与のお知らせハガキが届きます。ハガキが届いたら、イオン各店舗に設置されているWAONステーションか、ファミリーマートに設置されているファミポートで謝礼ポイントをダウンロード*した上で、電子マネー(WAON)に交換してください。
- Step.3 電子マネー(WAON)は、イオン系列のお店やファミリーマート、ローソンなどのコンビニ、マクドナルド、ドラッグストア、ガソリンスタンドなどで使えます。詳しくは **WAON 使えるお店** で検索!

*本年度からエコチルやまなしが主催するイベント会場でもダウンロードができるようになりました!

夏のイベント報告

エコチルやまなしでは、今年の夏もいくつかのイベントを開催しました。イベントはエコチルファミリーの皆さまと親しくお話ができる貴重な機会であり、成長したエコチルキッズとの再会は、調査を続けるうえで私たちの大きな励みになっています。ご参加くださった皆さま、暑い中本当にありがとうございました。

■「エコチルやまなしフォーラム2016 夏」

7月16日(土) 中央市 山梨大学医学部キャンパス

今年は「子どもの歯の健康について考えよう！」をテーマに、東京医科歯科大学の歯科医師・駒崎裕子先生に講演していただきました。駒崎先生は、いくつになっても健康な歯を保つために、①フッ素入りの歯磨き剤を使って食後の歯みがきを習慣づけること②小学校4年生までは仕上げ磨きをすること③かかりつけの歯科医院をつくって、プロフェッショナルケアを定期的に受けることなど、具体的なポイントを挙げて分かりやすくお話ししてくださいました。質疑応答では、歯並びと矯正についての質問が多く寄せられ、駒崎先生は個々の方に丁寧に答えてくださいました。

■「エコチルサロン」

8月20日(土) 21日(日) 甲府市 アイメッセ山梨

今年も「こどもの城フェスタ」がにぎやかに開催されました。エコチルやまなしでも、会場内にブースを設け、「エコチルサロン」をオープン。参加者の皆さまをお茶やお菓子でおもてなしました。たくさんの方から、近況や子育てのお話を直接伺うことができ、楽しい時間を過ごすことができました。お子さんたちの成長が、我が子のことのように嬉しく感じられた2日間でした。



これからも様々なイベントを開催していく予定です。イベントのお知らせは、案内ハガキやホームページでお知らせいたしますので、どうぞ奮ってご参加ください！

表紙撮影会を開催しました！

初秋のさわやかなお天気の10月15日、初めての試みとなるこびっと通信の表紙撮影会を開催しました。

撮影会場は笛吹市にある金川の森公園。今回ご参加いただいたのは、13組15人の元気いっぱいのお子さんと保護者の皆さまで、下は2歳から、上は5歳までのお子さんたちが、思い思いの遊びに興じる姿は、撮影された写真から笑い声が響いてきそうなほど、楽しそうでした。

どのお子さんもとても素敵な写真で、表紙の選考は大変難航しました。厳正な審査の結果、今回のこびっと通信7号の表紙は、甲府市にお住まいの阿部拳志朗くん5歳に決定しました。とても自然なかわいらしい表情で、見ていると思わずほっこりする表紙となりました。

撮影会に来ていただいた皆さま、素敵な笑顔を本当にありがとうございました。



編集後記

こびっと通信7号を皆さまのお手元に無事、お届けすることができ、編集スタッフ一同ほっとしています。今回は、茨城県つくば市にあるエコチル調査のコアセンターを取材させていただきました。皆さまにお答えいただいている質問票の“ふるさと”であり、ご記入いただいた回答が研究データとして蓄積されている拠点の様子をお伝えしましたが、少しでも身近に感じていただけたら幸いです。

ふと気付けば、もう11月…今年も残りわずかとなりました。年々、月日が過ぎ去るのが早まっているような気がしますが、その子どもたちは大きく成長している、ということでしょうか。エコチル調査に参加している一番大きいお子さんたちはもう5歳。誌面でも紹介しましたが、5歳のお誕生日記念として、新たに「タイムカプセル企画」を始めました。5歳の質問票とともにキットをお届けしますので、皆さまぜひご参加ください。

これからもスタッフ一同、エコチルキッズの成長を心から喜び、見守っていきたくと思っています。長いお付き合いをどうぞよろしく願っています。

いつも
ありがとう



◆エコチル調査コールセンター
電話：0120-53-5252
(年中無休9:00~22:00)

◆環境省エコチル調査ホームページ
<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html>

◆エコチル調査甲信ユニットセンター
(エコチルやまなし)
代表電話：055-273-1258
謝礼ポイント専用電話：055-273-6775
(いずれも土日祝日を除く9:00~17:00)

◆甲信ユニットセンターホームページ
<http://ecochil-koushin.jp/>

エコチルやまなし

検索